

コミュニケーション力調査 報告書

サンプル会社様



NAME LOGO
YOUR SLOGAN

提出日 月 日



調査の基本情報

- ・ 調査日

2024年 ○月○日～○月○日

- ・ 調査対象

サンプル会社様 100名

- ・ 調査項目

コミュニケーション力分析

- ・ 報告責任者

株式会社ダイレクトコミュニケーション
公認心理師 川島達史

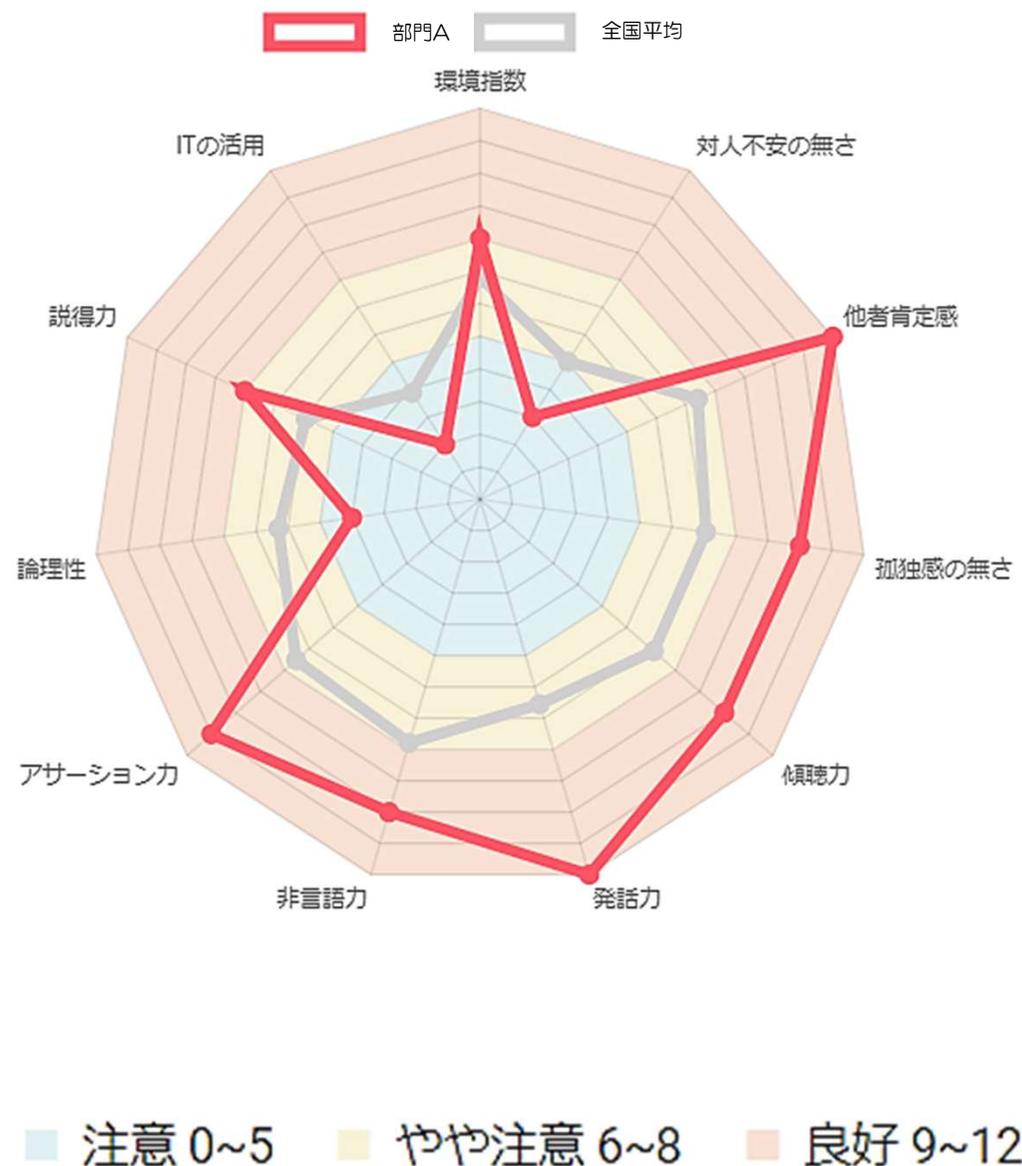


全体としての長所

・ 孤独感な社員が少ない
他者肯定感が高く、孤独を感じている社員が少ないようです。対人不安を抱えつつも人間関係に前向きで、人とのつながりを大事にできる方が多いでしょう。

・ アサーション力が高い
お互いに主張できる文化が育っているようです。ミーティングの席では積極的に発言をする方が多く、自由に発言できる社風があると推測できます。

・ 人間関係スキルが高い
傾聴力、発話力、が高いため、社内的にはソーシャルサポートが充実しやすくなります。また社外的には営業力を保つことができます。人間関係をベースとした展開が得意な社風と言えます。



短所・課題



・対人不安に問題
対人不安を抱えている社員様が多いようです。人間関係の構築スキルが高いですが、肝心なところで不安が勝ってしまい、積極的になれない可能性があります。

・説得力が不足
論理的に話す力、説得力のある話し方が低いようです。直観的に物事を判断している可能性があります。また説明するスキルが低いことが多く、今後の営業力に課題が残るかもしれません。

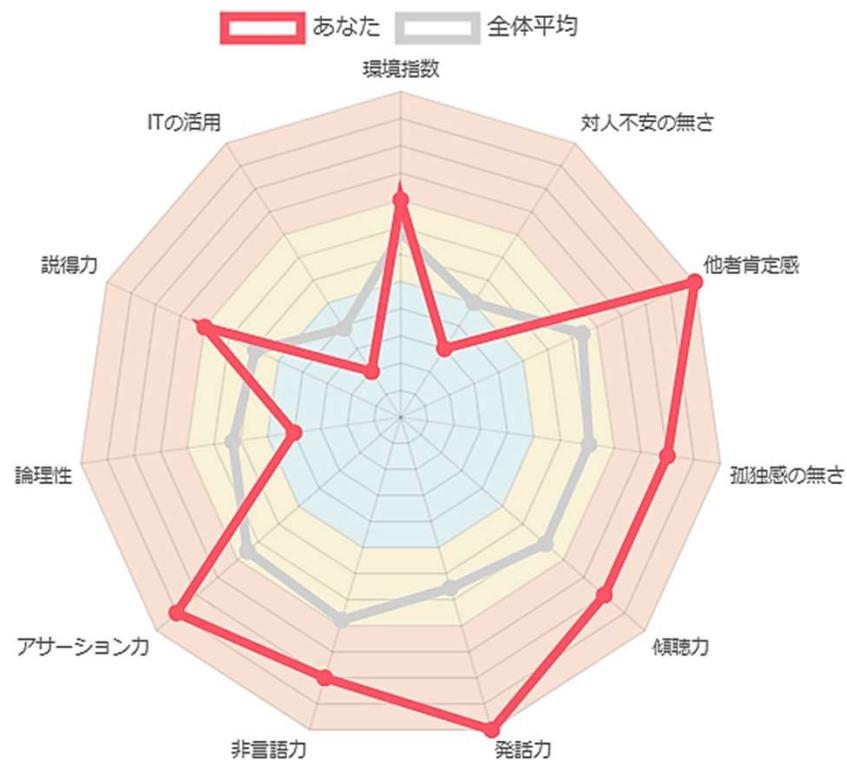
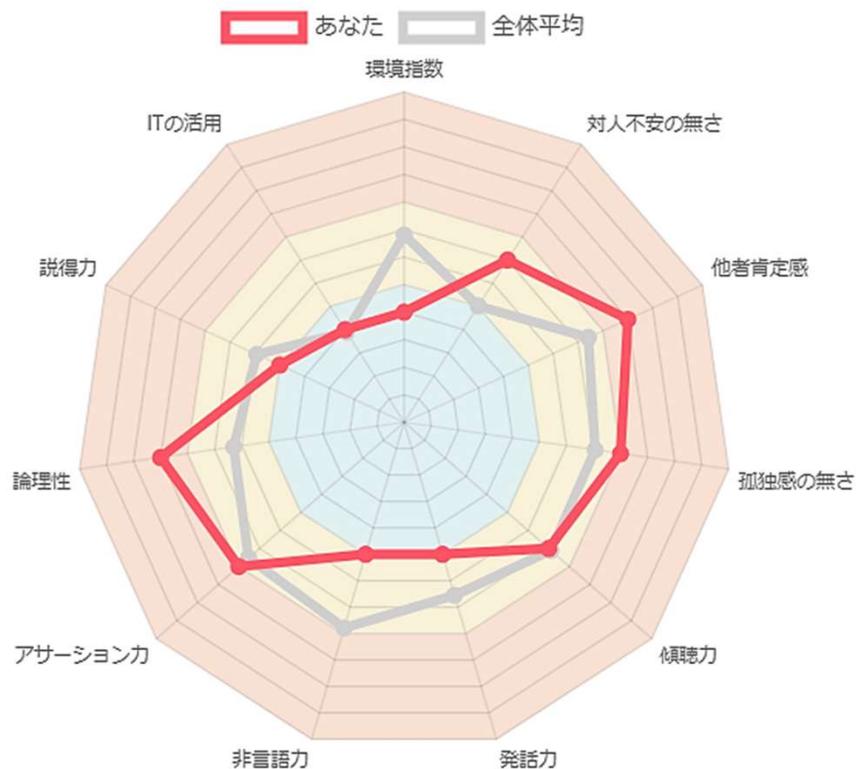
・ITの活用不足
ITへの意識が低い社員様が多いようです。ITを使いこなすことができず、コミュニケーションの効率化をはかれない可能性があります。

■ 注意 0~5 ■ やや注意 6~8 ■ 良好 9~12

環境指数	8
対人不安の無さ	3
他者肯定感	12
孤独感の無さ	10
傾聴力	10
発話力	12
非言語力	10
アサーション力	11
論理性	4
説得力	8
ITの活用	2

■ 注意 0~5 ■ やや注意 6~8 ■ 良好 9~12

年次比較



全体として、メンタルヘルスや人間関係の構築スキルが改善しています。御社での会社会的な取り組みがポジティブな効果をもたらしていると考えられます。一方で対人不安を持つ方が増えています。原因を分析し、早めに対処する必要があります。

今年度おすすめの対策



①対人不安の悪化の要因を探る

対人不安が大幅に悪化しているため、原因を特定する必要があります。場合によってはハラスメントが発生している可能性もあるので、緊急性が高いと言えます。社内アンケートを取る、点数が悪い社員から聞き取りをするなどがおすすめです。

②人間関係の良好さを維持

人間関係の構築力が向上しましたが、これを持続させるためには、原因を分析し、再現可能性をもたせることが大事になります。なぜ人間関係が向上したのか？を分析し、その情報を社内の伝統として守れるようにしていきましょう。

③論理的な文化を育てる

論理的に考える点数がかなり低いので「数字を使う」「曖昧な言葉を減らす」などの対策が考えられます。数字に関する問題や、大局的にロジカルに考える人が不足していないか、チェックすることをおすすめします。